

## 注文カード

住所：〒

注文者

氏名： 様

電話：

冊数： 部

注文先

日本僑報社  
TEL048-432-7332  
FAX048-432-7335  
郵便振替口座  
00140-3-583886 日本僑報社

出版発行 日本僑報社

国際交流研究所（大森和夫、弘子）編著  
中国の1万2967人に聞きました

2002年7月20日発行

定価：本体5600円+税

## 「日中国交正常化30周年記念アンケート調査

# 中国の1万2967人に聞きました。

中国で日本語を勉強している大学生、院生 88大学 9,183人

中国の日本語教師（中国籍）77大学 467人

日本で勉強している中国の留学生、就学生 3,317人

「日本に親しみを感じますか？」 「10年後の日中関係は？」

「日本政府に言いたいことは？」 「日本語学習で困ることは？」



新たな日中友好の道を探る 日中関係史上初めての一冊

国際交流研究所（大森和夫、弘子）編著 日本僑報社発行

日中関係は国交正常化三十周年を迎えましたが、壁にぶつかったり、ギクシャクしたり、「きしみ」が表面化することもしばしばです。「日中友好」が日中両国だけでなく、アジアや世界の安定と発展のために大切だ、と誰もが口にしますが、現実の日中関係は、決して、安定しているとは言えません。どこに原因があり、何が問題なのでしょう。両国の政府と国民の双方の努力が必要なのは言うまでもありませんが、具体的に、日本政府と個人は、どのような意識で、どのような行動が必要なのでしょう。

日本と中国の将来の友好について、日本人の側から考えてみたい、と思います。

日中友好には「相互理解」が不可欠です。それに裏打ちされた日中交流が真の友好につながるのだ、と思います。一人の中国の日本語学習者が真の「日本ファン」になることは、中国に、何十倍、何百倍の「日本理解者」を増やすことを意味します。

中国で日本語を勉強したり、教えたり、研究したり、あるいは日本に留学している人たちは年々増えています。日本語に関わっている中国の人たちは、真の日本理解者の大切な予備軍であり、一人一人が「民間大使」の役割を果たしてくれそうです。一人でも多くの日本語学習関係者に日本と日本人を理解してもらうことは、日本理解の輪を広げ、そして増やすことにつながります。

そこで、「日中国交正常化三十周年」を機に、アンケート調査を実施しました。中国の日本語学習関係者は、それぞれの日本語環境や目的や思いはさまざまですが、日本に熱い視線を注いでいることは確かです。日本人として、「日中友好」を考える出発点は、中国の人たちの「こころ」を知ることだ、と考えたのが、調査の動機です。

『中国の1万2967人に聞きました。』まえがきより